

平成26年11月25日

釜石市議会議長 海老原 正人 様

会派名 公明党  
代表者 山崎長栄  
報告者 細田孝子

### 会派視察調査報告書

当会派所属議員による視察調査を下記の通り実施しましたので報告致します。

1. 視察項目 ; 「少子化・人口減少対策・子育て上手常陸太田」について  
日 時 ; 平成26年11月5日(水) 14:00~15:30  
相手方 ; 茨城県常陸太田市議会事務局長 吉成 賢一  
茨城県常陸太田市議会事務局 議事係長 金子 充  
茨城県常陸太田市少子化・人口減少対策課長 福田 洋昭  
場 所 ; 常陸太田市議会 委員会室

#### 研修内容

常陸太田市は、少子化・人口減少対策を最重要課題として掲げ、市内に少子化・人口減少対策課を設置し取り組んでいる。特に、若者を対象にした定住への経済的支援や子供を産み育てやすい環境の整備をすすめ、他地域からの呼び込みも含めた取り組みをしている。施策内容としては、短期的施策として、新婚家庭の家賃助成や出会いの場の創出、乳児のおむつ購入費助成など大きく三つに分けて実施していた。成果としては、人口減少に歯止めがかかったとは言えないものの出生数や転入数が増えて来ている。今後の課題としては、出生率の向上という短期的に成果が出ない課題にどこまで粘り強く取り組めるのか、又、一市だけでは解決できない問題も多い事から、国・県を巻き込んだ取り組みが必要との事である。

#### 所 感

少子化・人口減少対策について、積極的に取り組んでいる事が、きめの細かい施策から感じ取れ、まさに子育て上手な町だと感じた。常陸太田市の年間予算は230億円で公債費比率は25年度で5.1%と健全財政であり、この施策の財源の確保については毎年、事業の見直しをし、財源確保に努めている。当市でも参考になる施策が多くあることから提案していきたいと思う。



2. 視察項目；「水戸市消費生活条例」について

日 時 ；平成26年11月6日（木） 9：30～11：00

相手方 ；茨城県水戸市議事課兼議会総務課 書記 嘉成 将大  
茨城県水戸市市民生活課 副参事 黒澤 純一郎  
茨城県水戸市市民生活課 係長 柳橋 剛

場 所 ；茨城県水戸市議会 会議室

研修内容

消費者を取り巻く環境は、高度情報化や国際化の進展によって大きく変化しており、商品購入が便利になった一方で、取引形態や購入方法が複雑、多様化し、トラブルが増加している。その為、消費者への支援や消費者教育、不当取引の防止など、消費者の利益の擁護と増進に関する施策を推進し、市民の消費生活の安定と向上を目指し、水戸市消費生活条例を制定し、今年4月1日より施行していた。市条例制定に至るまでには、条例でなく規則でもいいのではとの議論もあったが、事業者に規制をかけるには条例でなければ出来ないという事になった。25年度消費生活センターに寄せられた相談件数は、約2500件との事だが、潜在的にはこれ以上の被害が予想される事から相談しやすい環境づくりにも工夫をされていた。

これまでも、不当取引の防止を制定している自治体はあったが、水戸市のように幼児期から高齢者まで各段階で消費教育を取り入れたのは先駆的である。現在は、市民の意見を伺いながら実施計画の策定を進めている。

所 感

先駆的な取り組みをされている事を実感した。被害にあわないよう注意喚起はされているものの消費者トラブルの件数は増加傾向にある。賢い消費者の育成がトラブル減少に繋がるものではないかと思う。当市に於いても必要な取り組みだと感じた。

以 上